



# スモールステップ



## 9月号

### 防災特集

主幹教諭（生活指導主任）赤荻浩之

本日、9月1日は「防災の日」です。9月号は、本校の防災教育、防災体制の取り組みを特集します。（今年は、1923年の関東大震災から100年目を迎えます。）

#### 【4年ぶりの一泊二日宿泊防災訓練（中学部3年）を実施しました】

7月14日（金）、14時から事前学習の起震車、煙ハウス体験を行い（起震車では多くの生徒が震度6強～7の激しい揺れを体験）、16時からの宿泊防災訓練は、毛布とセラピーマットで寝床作り、ポンプ室受水槽からの水運搬とトイレ流し、非常食摂食、LEDランタンでの暗所歩行、身体拭き等、災害時の生活体験をしました。入浴ができない、ホールや視聴覚室での就寝など慣れない状況に戸惑う生徒の様子、適応しようと頑張っている生徒の様子等も見られました。教員も災害時の児童・生徒への支援・援助の仕方を考える機会を得ることができました。

#### 【東日本大震災 宮城県石巻市震災遺構を訪れて】

夏季休業中に、宮城県石巻市震災遺構2か所を訪問しました。「大川小学校震災遺構」は、海からから3.7Km内陸にあり、地震発生51分後に北上川を遡上してきた大津波で避難中の児童74名と教員10名が犠牲となりました。大川小学校には低学年児童でも登れる裏山と集合スペースがありましたが当時避難先として選択されませんでした。もう1か所は、海岸沿いにある「門脇小学校震災遺構」です。大津波警報に際し、訓練どおり裏山の高台に避難し、在籍中の児童・教員全員が大津波と津波火災から難を逃れました。私が痛感したのは、児童・生徒の命を守るためには、学校の立地環境、ハザードマップに基づく日頃の避難計画と訓練の実施は当然の事ながら、有事においては、想定にとらわれず、正確な情報収集と、より安全な判断を迅速に下すための教員個人、学校組織の危機管理能力の重要性です。「想定外はない」という事を改めて肝に銘じ、本校の防災体制、防災教育に努めてまいりたいと強く思いました。

#### 【大規模地震等への対応と保護者様への御願い】

平日の日中、震度5強以上の大規模地震が起きた場合、学校はスクールバス運行や一人通学を中止し、児童・生徒の校内での保護体制を取ります。学校には、非常食など児童・生徒、教職員全員3日分の備蓄品があります。保護者の皆様は学校からのマチコミ、災害伝言ダイヤル、ホームページ等の情報を御確認いただき、御自身の安全に留意してお子様を引取りに来てください。また、登下校時、スクールバス運行中の発災では、学校は可能な限り救援体制を取ります。保護者の方もスクールバスのGPS位置情報を確認し、保護に向かっていますよう御願いたします。

（裏面にも記事があります。）

## 【参考資料～備蓄食糧について】

以下、学校に備蓄してある災害用備蓄食になります			
	品名	メーカー	商品名（または型式）
1	スープ	おむすびころりん 本舗	保存食 オニオンスープ (ブロック)
2	クリームシチュー	おむすびころりん 本舗	F Dクリームシチュー (5食入り缶)
3	カレー (ヒートレス)	ハウス食品	L L ヒートレスカレー
4	煮込みハンバーグ	アルファーフーズ	美味しい防災食 ハンバーグ煮込み
5	栄養機能食品 (クッキー)	ハマダコンフェク ト	バランスパワーロングライフ (全粒粉)
6	白飯 (アルファ米)	アルファーフーズ	安心米 白飯
7	みそ汁	おむすびころりん 本舗	保存食 即席みそ汁 (ブロック)

※ この他に飲料水3日分があります。現在、都より配布されている災害時非常食は、アレルギー対応しておりません。該当の児童・生徒の災害時非常食は、御家庭の御協力でご用意いただいたアレルギー対応食をランチルームで管理しています。